



2025年12月12日

各 位

会 社 名 ベイシス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉村 公孝
(コード番号 : 4068 グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 今井 未来也
(TEL 03-6435-9907)

現場データ×AIで現場作業DXを加速、ベイシスとMODEが戦略的業務提携を締結

～BLASとBizStackのプロダクト連携・設置保守体制を通じて、スマートインフラ構築を支援～

インフラテック事業を展開するベイシス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：吉村公孝、証券コード：4068、以下、「ベイシス」）は、現場データの活用を支援するシリコンバレー発スタートアップMODE, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、日本支店：東京都千代田区、CEO：上田 学、以下、「MODE」）と、「ソリューションパートナー」として業務提携契約を締結いたしました。

本提携により、ベイシスが提供するIoTエンジニアリングサービスおよび現場作業DXクラウド「BLAS※1」（以下、「BLAS」）と、MODEが開発・提供する現場特化型データ統合ソリューション「BizStack※2」（以下、「BizStack」）を連携します。これにより、センサー・ゲートウェイ・カメラなどの現地設置・設定・保守をベイシスが担当するとともに、リアルタイムデータを活用したAIによる点検・業務支援まで一貫して提供可能な体制を構築します。

○業務提携の背景と目的

ベイシスは、日本全国をカバーするパートナーネットワークを活かし、スマートメーターをはじめとするあらゆるIoT機器や通信インフラの設置・保守などを多数手がけてきました。加えて、自社開発のBLASを活用することで、現場作業の進捗管理や情報共有を円滑に行い、より効率的かつ高品質な対応を実現しています。一方、MODEは現場のリアルタイムデータや既存システムのデータを一元的に統合し、AIを活用して業務効率化や安全性向上を実現するBizStackを開発しており、建設・製造・物流・インフラなど多様な業界で現場DXを推進しています。

本提携により、以下の連携軸を起点とした協業を進めてまいります。

・デリバリー連携

MODEのIoTデバイス（センサー／ゲートウェイ等）のキッティング・現地設置・定期点検・保守業務をベイシスが担当

- ・ロジスティクス支援

調達・納品・在庫管理までベイシスが担い、多拠点に同時にすばやく展開を実現

- ・プロダクト連携

BLASとBizStackのAPI連携による、施工から点検・保守までの業務一元化

- ・現場保守支援

BLASとBizStackの連携に加え、ベイシスのフィールド対応力を掛け合わせることでスマート保安・保守※3を共同で推進

- ・事業開発・営業連携

サービスパッケージの事業開発や大規模案件の獲得

○今後の展望

本提携は、ベイシスのVISIONである「ICTで世の中をもっと便利に」と、MODEが掲げる「データで現場を強くする」の両社の理念を融合させ、現場業務の進化を共に加速させるものです。

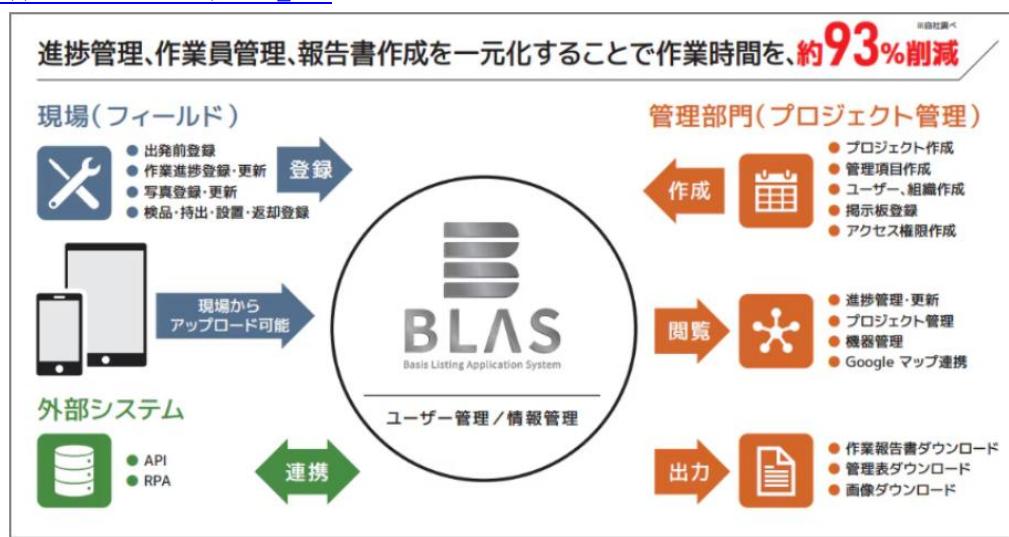
今後、両社は特定顧客へのパイロット案件（PoC）から商用展開へとスピーディーに移行し、共同提案パッケージの開発や販路拡大を進めていきます。また、BLASとBizStackの技術的連携を深化させることで、現場の点検・保守業務の自動化やコスト最適化を目指してまいります。

○BLASについて 注釈※1

BLASは、現場管理と工事の両方を手がけるベイシスだからこそ生まれた、自社開発の現場作業DXクラウドサービスです。現場での記録作業やデータ確認、管理業務など、これまでアナログで行われていた業務をシステム化し、省人化と業務の生産性向上を実現します。

さらに、ベイシスが特許を取得した画像認識AIと併用することで、現場で撮影された写真データからメーターの指針値やシリアルナンバーを自動で読み取ることが可能です。これにより、設置状況の精度確認や情報の効率的な管理を実現します。

https://smasetchi.com/BLAS_001



○BizStackについて 注釈※2

BizStackは、現場のリアルタイムデータや既存システムのデータを一元的に統合し、AIを活用した直感的な操作による業務効率化や安全性向上を実現する次世代のデータ統合ソリューションです。建設・製造・物流などの「現場」で発生する多様なデータをつなぎ、センサー・カメラからのIoTデータ・既存の業務システム・SaaSなどから取得した情報をリアルタイムに収集・解析できます。



注釈※3：スマート保安・保守とは

IoTやAIによる遠隔監視・異常予兆検知に加え、現場での迅速な点検・対応を組み合わせ、現場の安全性向上と作業効率化を実現する取り組みです。

○今後の見通し

本提携が当面の業績に与える影響は現時点では軽微であると判断しておりますが、重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに公表いたします。

○ベイシスについて

ベイシスは「ICTで世の中をもっと便利に」を企業理念に掲げ、テクノロジーを駆使しながらデジタル社会のインフラを創り、支える「インフラテック事業」を行っています。通信・電力・ガス等のインフラ事業者様をはじめ、さまざまな分野の企業様に対し、通信インフラの設計・施工・運用・保守サービスおよび各種プロジェクト支援等のサービスを提供しています。

<https://www.basis-corp.jp/>

○MODEについて

MODEは、現場のリアルタイムデータのインテグレーションを支援する「BizStack」を開発・提供する、シリコンバレー発のスタートアップです。建設・製造・物流などの現場が抱える人手不足や業務の属人化といった課題に対し、デジタル技術と現場理解に基づいたアプローチで、多くの企業のDXを支援しています。

<https://www.tinkermode.jp>

○社員採用情報のご紹介

ベイシスは、世の中をアップデートし続け社会に貢献するために、共に挑戦する仲間を募集しています。

詳しい採用情報やエントリー方法については、以下のリンクからご確認ください。

<https://www.basis-corp.jp/recruit/>

○IRメールの配信登録ご紹介

IRニュースや最新情報をメールで受け取りたい方は、以下のリンクもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://www.magicalir.net/4068/mail/index.php>



○代表取締役社長 吉村公孝のXアカウントご紹介

代表取締役社長 吉村公孝のXアカウントより定期的に会社情報等の発信を行います。ぜひフォローをお願いいたします。

以下のQRコードもしくは「吉村公孝@ベイシス社長」「@yoshibasis」で検索ください。



以上